

事業シート(令和3年度決算)

事業名	21000 男女共同参画推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総会計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約	・日常生活における「潤いやいきがい」の創出につながる生涯学習(世代ごとの多彩な学習機会)や女性のワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)を考慮した学習機会・研修参加機会の充実に努めます。
			款	2	総務費		まちづくり戦略	(1)	多様な働き方に適応した労働環境の構築		
			項	1	総務管理費	根拠計画画	男女共同参画基本計画、過疎地域持続的発展計画				
			目	10	市民活動推進費						
担当課	市民活動部 生涯学習課	内線	2361								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 第5次高山市男女共同参画基本計画の着実な推進を図る。 誰もが多様な生き方や働き方を選択することができ、個性や魅力に応じて活躍できる社会の実現を目指す。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画意識の啓発 男女共同参画推進懇話会の開催
----	--	----	---

総会計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標
社会全体において「男女平等である」と回答する市民の割合(アンケート調査)	-	-	50%
審議会等における女性委員参画率	36.4%	35.4%	40%
ワーク・ライフ・バランスについて「知っている」と回答する市民の割合(アンケート調査)	-	-	80%

2.事業の実施結果等(Do)

		R2		R3			
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
歳出事業費(職員人件費を除く)		1,072	223	1,112	1,078	326	103
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他()						
一般財源		1,072	223	1,112	1,078	326	103
個票枝番	主な事業内容						
	男女共同参画推進懇話会の開催	182		182	182		
	男女共同参画・ワークライフバランスの推進	540		580	546		
	男女共同参画講演会の開催	350	223	350	350	326	103

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和4年度予算編成(Action)

		R4予算	実施計画額	1,100	
		要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
		1,109	1,002	1,002	△ 110
		1,109	1,002	1,002	△ 110
査定額	説明				
		182			
		470			
		350			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績・評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画講演会の開催(1回) 男女共同参画講座の開催(5回) 男女共同参画パネル展の開催 各種媒体を活用した啓発活動
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 各種媒体を活用した啓発や講演会の開催による学習機会を提供し、女性の職業生活における活躍やワーク・ライフ・バランスの推進、多様な性への理解を深めることができた。 新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの事業が規模縮小・中止となった。 行政・地域・事業者が協働・連携した実効性ある取り組みを進めていく必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 第5次男女共同参画基本計画に基づき、行政・地域・事業者が協働・連携した取り組みを進め、市民の男女共同参画に対する意識の高揚を図る。 男女共同参画社会実現に対する社会全体の機運を高めるため、女性の職業生活における活躍やワーク・ライフ・バランスの推進を図る。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

5.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画講演会の開催(1回) オンライン(YouTube)を併用して開催 参加者数 147人(会場 40人・オンライン 107人) 男女共同参画パネル展の開催(2回) 各種媒体を活用した啓発活動
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 各種媒体を活用した啓発や講演会の開催による学習機会を提供し、女性の職業生活における活躍やワーク・ライフ・バランスの推進について理解を深めることができた。 講演会や講座をオンラインを併用して開催することにより、新型コロナウイルス感染防止、場所や時間に左右されない学びの場を提供することができた。 行政・地域・事業者が協働・連携した実効性ある取り組みを進めていく必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 第5次男女共同参画基本計画に基づき、行政・地域・事業者が協働・連携した取り組みを進め、市民の男女共同参画に対する意識の高揚を図る。 男女共同参画社会実現に対する社会全体の機運を高めるため、女性の職業生活における活躍やワーク・ライフ・バランスの推進を図る。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

担当課 予算要求 ポイント	
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容の精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(令和3年度決算)

事業名	21020 都市交流促進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約	
			款	2	総務費		まちづくり戦略	(4)	文化芸術・スポーツ活動等による心の豊かさの創出		
			項	1	総務管理費		根拠計画				教育振興基本計画、過疎地域持続的発展計画
			目	10	市民活動推進費						
担当課	市民活動部 生涯学習課	内線	2349								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・国内の姉妹友好都市(長野県松本市、神奈川県平塚市、福井県越前市、山形県上山市)との交流を推進する。	概要	・高山市都市提携委員会を中心とした交流事業の実施
----	--	----	--------------------------

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標
「国内外の都市と様々な分野において交流が進んでいる」と感じている市民の割合	43.1%	41.4%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

		R2		R3			
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		1,130	340	2,500	1,889	497	157
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他()						
一般財源		1,130	340	2,500	1,889	497	157
個票枝番	主な事業内容						
	高山市都市提携委員会の運営に対する助成	900	300	900	300	300	0
◎ 1	松本市姉妹友好都市提携50周年記念事業			1,270	1,259	173	173
	友好都市提携40周年記念事業(平塚市・越前市)						

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和4年度予算編成(Action)

R4予算		実施計画額		2,200
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
1,130	1,120	1,120	△ 1,380	
1,130	1,120	1,120	△ 1,380	
査定額	説明			
600				
310				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	・新型コロナウイルス感染症の影響により、市民ツアー等の直接的な交流事業は中止 ・各都市の魅力等を互いの都市で紹介するなど、都市交流を実施
評価等	・直接的な交流事業は実施できなかったが、コロナ禍においても都市交流を推進することができた。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定 ・市民レベルでのまちづくり、経済、文化面等での交流を促進する。 ・ウィズコロナ及びポストコロナを見据えた交流のあり方を検討していく。

5.令和3年度事業実績、評価等(Check) R4.8実施

事業実績	・松本市との姉妹都市提携50周年記念式典を乗鞍岳畳平にて開催 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、市民ツアー等の直接的な交流事業はほとんど中止 ・オンライン形式での交流など、ウィズコロナを踏まえた交流を実施
評価等	・松本市との記念式典については市民の方に参加いただき開催することができた。 ・その他の交流事業はコロナの影響で参加者が少なかった。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定 ・市民ツアーなど、市民レベルでの交流を再開していく。

担当課 予算要求 ポイント	・高山市都市提携委員会への助成に必要な経費を計上 ・友好都市提携40周年記念事業に必要な経費を計上 ・都市提携委員会運営補助の見直し ⇒事業内容を見直し(マリン交流の実施を見送り)
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	・積算内容の精査
-------------------	----------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに
--------------	-------------

主要事業個票(令和3年度決算)

事業名	21020 都市交流促進事業費	区分	<input type="checkbox"/> R3新規	<input type="checkbox"/> R4新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	市民活動部 生涯学習課
枝番・内容	1 松本市姉妹友好都市提携50周年記念事業		<input type="checkbox"/> R3拡充	<input type="checkbox"/> R4拡充		款	2	総務費		
		<input type="checkbox"/> その他重要事業		項		1	総務管理費	内線	2349	
		<input checked="" type="checkbox"/> 周年記念事業		目		10	市民活動推進費	作成年月	R4.8	

事業の目的・概要(Plan)

目的	・姉妹都市である長野県松本市との友好関係を深める	概要	・松本市・高山市姉妹都市提携50周年記念事業の実施
----	--------------------------	----	---------------------------

【参考】R2決算(Do-Check) R3.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

【参考】R3当初予算(Action) R3.3時点 (千円)

予算額	当初	1,270
主な経費	記念式典用看板、記念品、松本市民提供用ノベルティ	
	対前年度増減額(当初予算)	
		1,270

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

R3決算(Do-Check) R4.8時点 (千円)

予算額	当初	1,270
	繰越	0
	補正等	△ 11
	最終	1,259
決算額		173
対前年度増減額(決算)		173

R4当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	
主な経費		
	対前年度増減額(当初予算)	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等	
[事業実績]	
[評価等]	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	松本市姉妹都市提携50周年記念式典の開催 高山市を来訪した松本市民への記念ノベルティの配布
[スケジュール]	5月 松本市姉妹都市提携50周年記念式典の開催 通年 高山市を来訪した松本市民への記念ノベルティの配布

事業実績、評価等	
[事業実績]	・松本市姉妹都市提携50周年記念式典を乗鞍岳畳平にて開催 ・高山市を来訪した松本市民に記念ノベルティを配布
[評価等]	・50周年記念式典において両市長による共同宣言を行い、市民の更なる交流の促進や「松本・高山Big Bridge構想」の実現等に取り組むことを確認することができた。
次年度以降の考え方(担当課)	市民レベルでの交流を続けていく。 <input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input checked="" type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業実績]	
[評価等]	

事業シート(令和3年度決算)

事業名	21040 人権啓発事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約	
			款	2	総務費		まちづくり戦略	(4)	文化芸術・スポーツ活動等による心の豊かさの創出		
			項	1	総務管理費		根拠計画				教育振興基本計画、過疎地域持続的発展計画
			目	10	市民活動推進費						
担当課	市民活動部 生涯学習課	内線	2361								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・高山市人権施策推進指針に基づき、人権尊重の理念に対する理解を深める。	概要	・人権啓発活動の実施 ・高山人権擁護委員協議会への助成
----	-------------------------------------	----	--------------------------------

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	R2		R3			
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
	2,303	1,635	1,511	1,545	897	△ 738
特定財源						
国費()						
県費(人権啓発活動費)	820	452	320	320	156	△ 296
その他()						
一般財源	1,483	1,183	1,191	1,225	741	△ 442
個票枝番	主な事業内容					
	人権擁護委員協議会に対する助成	584	584	592	592	8
	人権講演会、啓発物品	1,190	822	390	424	△ 646
	犯罪被害者に対する支援	400	100	400	400	△ 100

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和4年度予算編成(Action)

(千円)

R4予算		実施計画額	1,400
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
1,708	1,656	1,656	145
524	500	500	180
1,184	1,156	1,156	△ 35
査定額	説明		
592			
510			
400			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績・評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 人権啓発活動の実施 人権講演会の開催(1回) 懸垂幕の掲示 人権だよりの発行(12回) 人権パネル展の実施(1回) シトラスリボンプロジェクトの推進 高山人権擁護委員協議会への助成 犯罪被害者に対する見舞金制度(1件)
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 各種取り組みを継続的に実施していく必要がある。 人権施策推進指針に基づき人権だよりの発行するなど、人権尊重の理念に対する理解を深めた。 新型コロナウイルス感染症による偏見や差別等を防止するため、「STOP! コロナ・ハラスメント」のチラシ・ポスター作成・配布や人権講演会、シトラスリボンプロジェクトの推進を図った。 LGBTIに関する偏見や差別をなくすため、啓発リーフレットを作成し関心や理解を深めた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 多岐に渡る人権問題に対して理解を深める。 社会情勢の変化に対応した人権施策推進指針の見直しを行う。 コロナ・ハラスメント防止に向けた啓発活動を行う。 引き続き犯罪被害者相談会を開催する。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R2完了
- R3完了予定

5.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 人権啓発活動の実施 人権講演会の開催(1回) 懸垂幕の掲示 人権だよりの発行(12回) 人権パネル展の実施(1回) 人権標語募集 応募 69点(一般10点、5.6年生59点) シトラスリボンプロジェクトの推進 LGBTIに関する研修会(1回) オンライン(映像配信)による開催 参加者 173人 高山人権擁護委員協議会への助成 犯罪被害者に対する見舞金制度(0件)
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 各種取り組みを継続的に実施していく必要がある。 人権施策推進指針に基づき人権だよりの発行などにより、人権尊重の理念に対する理解を深めた。 シトラスリボンプロジェクトの推進により、新型コロナウイルス感染症による偏見や差別等を防止に努めた。 LGBTIに関する偏見や差別をなくすため、研修会の開催や啓発リーフレットを配布し関心や理解を深めた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 多岐に渡る人権問題に対して理解を深める。 社会情勢の変化に対応した人権施策推進指針の見直しを行う。 引き続き犯罪被害者相談会を開催する。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R3完了
- R4完了予定

担当課 予算要求 ポイント	人権啓発に必要な経費を計上
---------------------	---------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容の精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(令和3年度決算)

事業名	21050 平和推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約	平和の重要性をとおして「命」の尊さを認識する機会を充実します。
			款	2	総務費		まちづくり戦略	(4)	文化芸術・スポーツ活動等による心の豊かさの創出		
			項	1	総務管理費		教育振興基本計画、過疎地域持続的発展計画				
			目	10	市民活動推進費		根拠計画				
担当課	市民活動部 生涯学習課	内線	2349								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 平和に関する意識の高揚を図る。 恒久平和の実現に寄与する。 	概要	平和に関する啓発活動の実施
----	--	----	---------------

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R2		R3			
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		806	504	896	841	159	△ 345
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他()						
一般財源		806	504	896	841	159	△ 345
個票枝番	主な事業内容						
	平和に対する意識の普及啓発	670	504	760	741	159	△ 345

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和4年度予算編成(Action)

(千円)

R4予算		実施計画額		300
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
462	414	414	△ 482	
査定額	説明			
290				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 平和都市宣言に基づく取り組み 平和都市宣言推進会議の開催 啓発活動の実施 高山市平和の日における一斉鐘打 原爆ポスター展の開催 「私の八月十五日」パネル展の開催
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ポスター展やパネル展を開催することで、市民の平和への意識を高めることができた。 「高山市平和都市宣言」を市民へ広く周知する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 推進会議を中心とした「高山市平和都市宣言」の周知を図る。 引き続き市民の平和への関心・理解、世界平和の実現に貢献する取り組みを促進する。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

5.令和3年度事業実績、評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 平和都市宣言に基づく取り組み 平和都市宣言推進会議の開催 啓発活動の実施 高山市平和の日における一斉鐘打 原爆ポスター展の開催 国際平和を願う市庁舎ライトアップの実施
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ポスター展や鉦の打ち鳴らし等を通して、市民の平和への意識を高めることができた。 「高山市平和都市宣言」を市民へ広く周知する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 推進会議と協働して「高山市平和都市宣言」の周知を図る。 引き続き市民の平和への関心・理解、世界平和の実現に貢献する取り組みを促進する。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 平和に関する啓発活動に必要な経費を計上 平和の日関連事業の見直し ⇒講演会等会場を市民文化会館から煥章館生涯学習ホールに変更
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	積算内容の精査
市長査定 の考え方	財務部査定のとおり

事業シート(令和3年度決算)

事業名	94100 社会教育推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総会計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(1)	多様な主体の協働による地域コミュニティの活性化	
			項	4	社会教育費		根拠計画		教育振興基本計画、過疎地域持続的発展計画	
			目	1	社会教育総務費					
担当課	市民活動部 生涯学習課	内線	2361							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 社会教育の推進を図る。 地域づくり活動の充実に資する学びを推進することで、地域コミュニティの活性化を図る。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 社会教育委員会議の開催 社会教育推進事務
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標
「生涯学習に取り組む機会や学習成果を活かすことができる環境が整っている」と感じている市民の割合	43.8%	43.9%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R2		R3			増減 (b)-(a)
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	
		2,644	995	2,583	2,583	938	△ 57
特定財源	国費 ()						
	県費 ()						
	その他 ()						
一般財源		2,644	995	2,583	2,583	938	△ 57
個票枝番	主な事業内容						
	社会教育の推進	2,644	995	2,583	2,583	938	△ 57

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和4年度予算編成(Action)

R4予算		実施計画額		2,600
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)	
2,446	2,438	2,438	△ 145	
2,446	2,438	2,438	△ 145	
査定額	説明			
2,438				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績・評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 社会教育委員会議の開催(4回) ※臨時会議:教育委員との意見交換会開催
評価等	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍でのまちづくり協議会の活動や各種団体の活動状況を情報交換することにより、試行錯誤しながら新たな取り組みを知り、コロナ禍での社会教育活動の必要性について意識を深めた。 成年年齢引き下げに伴う成人式の対象年齢、コロナ禍での成人式の開催方針を協議した。 新型コロナウイルス感染症の影響により、各種大会・研修会(飛騨・県・東海北陸)が規模縮小・中止となった。 自ら学んだ成果を地域課題の解決や地域の魅力づくりなどの取り組みに活かせる環境整備(地域づくり型生涯学習)を進める。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 「地域づくり型生涯学習」を推進するため、地域の課題や魅力について学べる機会の充実を図る。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R2完了
- R3完了予定

5.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 社会教育委員会議の開催(4回)※オンライン併用開催 ※臨時会議(書面開催)
評価等	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍における各種団体の活動や取り組みについて情報交換を行うとともに、各種大会や研修会等への参加により、コロナ禍での生涯学習・社会教育活動の必要性について認識を深めた。 ICTの活用が進む中、時間や場所によらない学びについての認識を深めると同時に、対面でのコミュニケーションの重要性についても再確認した。 新型コロナウイルス感染症の影響により、各種研修会等(飛騨・県・東海北陸)にオンラインで参加した。 管内視察研修の見直しを検討する必要がある
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ICTを活用した学びの提供、対面での活動など、場面に応じた地域の課題や魅力について学べる機会の充実を図る。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R3完了
- R4完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 社会教育委員会議活動に必要な経費を計上 管内現地視察研修の終了
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	積算内容の精査
市長査定 の考え方	財務部査定のとおりに

事業シート(令和3年度決算)

事業名	94110 市民憲章推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総会計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(1)	多様な主体の協働による地域コミュニティの活性化	
			項	4	社会教育費		根拠計画		教育振興基本計画、過疎地域持続的発展計画	
			目	1	社会教育総務費					
担当課	市民活動部 生涯学習課	内線	2361							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・市民憲章の具現化を図る。	概要	・高山市民憲章推進協議会への支援
----	---------------	----	------------------

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R2		R3			(千円)
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		9,500	7,634	9,500	9,500	6,953	△ 681
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他()						
一般財源		9,500	7,634	9,500	9,500	6,953	△ 681
個票枝番	主な事業内容						
	高山市民憲章推進協議会の活動に対する助成	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	0
	高山市民憲章推進協議会が実施する花いっぱい運動活動事業に対する助成	8,500	6,634	8,500	8,500	5,953	△ 681

4.令和4年度予算編成(Action)

R4予算		実施計画額		9,500
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
7,700	7,700	7,700	△ 1,800	
7,700	7,700	7,700	△ 1,800	
査定額	説明			
700				
7,000				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・市民憲章推進協議会への支援 ・新型コロナウイルス感染症に対する正しい理解を深めるため、「STOP！コロナ・ハラスメント」チラシを配布
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・市民憲章推進協議会の活動を通じて、市民憲章の理念の浸透が図られた。 ・市民等が一体となって市民憲章の具現化に取り組む必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き花いっぱい運動のあり方など、事業全体の検討を踏まえ、高山市民憲章の具現化を図る。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R2完了
- R3完了予定

5.令和3年度事業実績、評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・市民憲章推進協議会への支援 花苗配布 260団体 花苗216,668株 花種137,650粒 フラワーコンクール 応募 58点 文化講演会をオンライン(YouTube)を併用し開催 参加者数 95名(会場 53名・オンライン 42名) ※「新型コロナウイルス感染症に伴う差別や偏見を防ぎ「ただいま」「おかえり」っていいあえるまちをめざして」講師 甲斐 朋香 歴史文化(観光)施設市民無料公開 27施設 来館者 2,952人 版画年賀状コンクール 応募 245点
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・市民憲章推進協議会の活動を通じ、市民憲章の理念の浸透が図られた。 ・市民等が一体となって市民憲章の具現化に取り組む必要がある。 ・花いっぱい運動における花苗配布対象及び数量など、花壇面積等に応じた申し込みの適正化に向けた協議を行った。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き花いっぱい運動のあり方など、事業全体の検討を踏まえ、高山市民憲章の具現化を図る。 ○啓発 ・啓発方法の検討 ○花いっぱい運動 ・花苗の配布(対象・数量など)の適正化、「花づくり講習(秋季)」の終了

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R3完了
- R4完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・市民憲章の具現化の推進に必要な経費を計上 ・市民憲章推進協議会補助金の見直し ⇒市民憲章条文入り啓発物品の見直し ⇒花いっぱい運動活動事業の実施内容を精査
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	要求どおり
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(令和3年度決算)

事業名	94200 文化会館管理事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(4)	文化芸術・スポーツ活動等による心の豊かさの創出	
			項	4	社会教育費		根拠計画		教育振興基本計画	
			目	2	文化会館費					
担当課	市民活動部 生涯学習課	内線	2349							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 文化会館の適正な管理運営により、市民の利用を促進する。 市民の文化芸術の向上と福祉の増進を図る。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者による施設の管理運営
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標
「文化芸術を鑑賞したり、活動が支援されて発表したりできる環境が整っている」と感じている市民の割合	51.1%	51.3%	↗
文化施設利用者数(年間)	143,803人	180,344人	462,000人

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	R2		R3				
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)	
	139,011	130,005	116,825	126,795	121,832	△ 8,173	
特定財源							
国費()							
県費()							
その他(使用料)	72	86	72	72	91	5	
一般財源	138,939	129,919	116,753	126,723	121,741	△ 8,178	
個票枝番	主な事業内容						
	文化会館の管理運営	132,985	124,174	113,825	123,795	119,783	△ 4,391
	施設整備・備品購入	6,026	5,831	3,000	3,000	2,049	△ 3,782

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和4年度予算編成(Action)

(千円)

R4予算		実施計画額		120,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
119,540	119,420	119,420	2,595	
81	66	66	△ 6	
119,459	119,354	119,354	2,601	
査定額	説明			
114,020				
5,400				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績・評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者による施設の管理運営 利用状況 利用件数 3,596件(市民文化会館:791件、市民公民館:2,805件) 利用者数 85,609人(市民文化会館:30,318人、市民公民館:55,291人) 施設整備 小ホール音響調整卓購入
評価等	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍で施設の利用制限があり利用者数は減少したが、感染対策の徹底や児童生徒等を対象にした特別減免等の実施により活動の場の提供に努めた。 ニーズに対応した運用を図る必要がある。 施設の利便性の向上や安全性の確保に向けた整備を行う必要がある。 駅西地区のまちづくりの検討に合わせ、複合化・多機能化など再整備に向けた取り組みをすすめる必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 施設のより一層の利用促進を図る。 計画的に整備を実施する。 将来的な施設のあり方について検討する。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R2完了
- R3完了予定

5.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者による施設の管理運営 利用状況 利用件数 3,987件(市民文化会館:852件、市民公民館:3,135件) 利用者数 103,661人(市民文化会館:43,927人、市民公民館:59,734人) 施設整備 喫煙所設置工事
評価等	<ul style="list-style-type: none"> コロナの影響により施設の利用は減少しているが、感染対策の徹底や利用制限の緩和により、令和2年度よりは回復傾向にある。 ニーズに対応した運用を図る必要がある。 施設の利便性の向上や安全性の確保に向けた整備を行う必要がある。 駅西地区のまちづくりの検討に合わせ、複合化・多機能化など再整備に向けた取り組みをすすめる必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 施設のより一層の利用促進を図る。 計画的に整備を実施する。 将来的な施設のあり方について検討する。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R3完了
- R4完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 文化会館の管理運営に必要な経費を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	積算内容の精査
市長査定 の考え方	財務部査定のとおりに

事業シート(令和3年度決算)

事業名	94300 公民館管理事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約	
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(1)	多様な主体の協働による地域コミュニティの活性化		
			項	4	社会教育費		根拠計画				教育振興基本計画、過疎地域持続的発展計画
			目	3	公民館費						
担当課	市民活動部 生涯学習課	内線	2349								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 公民館の適正な管理運営により、市民の利用を促進する。 住民の教養の向上、健康の増進、豊かな心の醸成を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与する。 	概要	・指定管理者による施設の管理運営
----	---	----	------------------

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	R2			R3			
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)	
	153,246	152,396	91,874	91,874	87,208	△ 65,188	
特定財源							
国費 (景観改善推進事業費1/3)			13,000	13,000			
県費 ()							
その他(使用料、土地貸付収入、雑入、地方債)	108,850	109,546	27,850	27,850	35,782	△ 73,764	
一般財源	44,396	42,850	51,024	51,024	51,426	8,576	
個票枝番	主な事業内容						
	公民館の管理運営	45,246	44,407	51,874	51,874	51,292	6,885
	施設整備	108,000	107,989	40,000	40,000	35,916	△ 72,073

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和4年度予算編成(Action)

(千円)

R4予算		実施計画額		55,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
44,533	44,484	44,484	△ 47,390	
1,203	1,198	1,198	△ 26,652	
43,330	43,286	43,286	△ 7,738	
査定額	説明			
43,784				
700				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績・評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者による施設の管理運営(13施設のうち5施設) 利用状況 利用者数 40,432人 公民館登録団体数 183団体 施設整備 久々野公民館外壁等改修工事に伴う監理業務委託 奥飛騨総合文化センター外壁改修工事に伴う設計業務委託 久々野公民館外壁等改修工事
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 施設のより一層の利用促進を図る必要がある。 施設の利便性の向上や安全性の確保に向けて施設整備を行った。 定期報告等に基づく施設整備を行う必要がある。 公共施設等総合管理計画に基づく計画的な修繕・改修の実施と施設の統廃合や多機能化を検討する必要がある。 コロナ禍で利用制限があり利用者数は減少したが、感染対策の徹底や特別減免等の実施により、利用団体の活動の継続に努めた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 施設のより一層の利用促進を図る。 計画的に整備を実施する。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R2完了
- R3完了予定

5.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者による施設の管理運営(13施設のうち5施設) 利用状況 利用者数 48,929人 公民館登録団体数 172団体 施設整備 奥飛騨総合文化センター外壁改修工事に伴う監理業務委託 奥飛騨総合文化センター外壁改修工事
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 施設のより一層の利用促進を図る必要がある。 施設の利便性の向上や安全性の確保に向けて施設整備を行った。 定期報告等に基づく施設整備を行う必要がある。 公共施設等総合管理計画に基づく計画的な修繕・改修の実施と施設の統廃合や多機能化を検討する必要がある。 コロナ禍により施設利用は減少しているが、基本的な感染対策を徹底のうえ、利用制限の緩和することで利用団体の活動の継続に努めた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 施設のより一層の利用促進を図る。 計画的に整備を実施する。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R3完了
- R4完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・公民館の管理運営に必要な経費を計上
---------------------	--------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容の精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(令和3年度決算)

事業名	94400 女性青少年会館管理事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(1)	多様な主体の協働による地域コミュニティの活性化	
			項	4	社会教育費		根拠計画		教育振興基本計画	
			目	4	女性青少年推進費					
担当課	市民活動部 生涯学習課	内線	2397							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 女性青少年会館の適正な管理運営により、市民の利用を促進する。 女性の文化と教養を高め、青少年の健全な育成を図る。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者による施設の管理運営
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	R2		R3				
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)	
	17,930	17,883	17,770	17,770	17,723	△ 160	
特定財源							
国費()							
県費()							
その他(使用料)	24	23	24	24	23	0	
一般財源	17,906	17,860	17,746	17,746	17,700	△ 160	
個票枝番	主な事業内容						
	女性青少年会館の管理運営	17,730	17,721	17,770	17,730	17,723	2
	施設整備・備品購入	200	162				△ 162

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和4年度予算編成(Action)

(千円)

R4予算		実施計画額	17,900
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
17,723	17,730	17,730	△ 40
20	18	18	△ 6
17,703	17,712	17,712	△ 34
査定額	説明		
17,730			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 施設の管理運営 各種講座等を実施 勤労青少年ホームと合わせて11,580人が利用
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 施設のより一層の利用促進を図る必要がある。 公共施設等総合管理計画に基づく計画的な修繕・改修の実施と施設の統廃合や多機能化を検討する必要がある。 新型コロナウイルス感染症の影響により、施設利用者の減少、多くの各種講座が規模縮小・中止となった。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 施設のより一層の利用促進を図る。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

5.令和3年度事業実績、評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 施設の管理運営 各種講座等を実施 勤労青少年ホームと合わせて11,209人が利用
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 施設のより一層の利用促進を図る必要がある。 公共施設等総合管理計画に基づく計画的な修繕・改修の実施と施設の統廃合や多機能化を検討する必要がある。 新型コロナウイルス感染症の影響により、施設利用者の減少、多くの各種講座が規模縮小・中止となった。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 施設のより一層の利用促進を図る。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 女性青少年会館の管理運営に必要な経費を計上
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	<ul style="list-style-type: none"> 積算内容の精査
市長査定の 考え方	<ul style="list-style-type: none"> 財務部査定のとおりに

事業シート(令和3年度決算)

事業名	94405 勤労青少年ホーム運営事業費	予算	会計	1	一般会計	総会計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約	・日常生活における「潤いやいきがい」の創出につながる生涯学習(世代ごとの多彩な学習機会)や女性のワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)を考慮した学習機会・研修参加機会の充実に努めます。
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(1)	多様な働き方に適応した労働環境の構築		
			項	4	社会教育費		根拠計画		教育振興基本計画		
			目	4	女性青少年推進費						
担当課	市民活動部 生涯学習課	内線	2397								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・勤労青少年ホームを活用した各種事業等の実施により、青少年の健全育成を図る。	概要	・指定管理者による施設の管理運営 ・勤労青少年ホーム利用連絡会の活動に対する支援
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R2		R3			
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		4,215	2,435	4,215	4,215	2,685	250
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他()						
一般財源		4,215	2,435	4,215	4,215	2,685	250
個票枝番	主な事業内容						
	勤労青少年ホームの管理運営	3,950	2,245	3,950	3,950	2,545	300
	勤労青少年ホーム利用連絡会の活動に対する助成	265	190	265	265	140	△ 50

4.令和4年度予算編成(Action)

R4予算		実施計画額		4,200
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
4,094	4,100	4,100	△ 115	
4,094	4,100	4,100	△ 115	
査定額	説明			
3,950				
150				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 施設の管理運営 各種講座等の実施 女性青少年会館と合わせて11,580人が利用 勤労青少年ホーム利用連絡会の活動に対する助成
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 施設のより一層の利用促進を図る必要がある。 公共施設等総合管理計画に基づく計画的な修繕・改修の実施と施設の統廃合や多機能化を検討する必要がある。 新型コロナウイルス感染症の影響により、施設利用者の減少、多くの各種講座や利用者連絡会の事業が規模縮小・中止となった。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 施設のより一層の利用促進を図る。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

5.令和3年度事業実績、評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 施設の管理運営 各種講座等の実施 女性青少年会館と合わせて11,209人が利用 勤労青少年ホーム利用連絡会の活動に対する助成
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 施設のより一層の利用促進を図る必要がある。 公共施設等総合管理計画に基づく計画的な修繕・改修の実施と施設の統廃合や多機能化を検討する必要がある。 新型コロナウイルス感染症の影響により、施設利用者の減少、多くの各種講座や利用者連絡会の事業が規模縮小・中止となった。 勤労青少年ホーム利用連絡会が行う助成対象となる事業も多くが中止となった。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 施設のより一層の利用促進を図る。 コロナ禍でも事業が実施できるようオンラインを利用した事業について検討する。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 勤労青少年ホームの管理運営に必要な経費を計上 勤労青少年ホーム利用連絡会補助金の見直し ⇒補助対象経費の内容を精査
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	・積算内容の精査
-------------------	----------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに
--------------	-------------

事業シート(令和3年度決算)

事業名	94410 青少年健全育成事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約	市民および地域と行政が一体となって推進する協働のまちづくりにより、地域共助を強化し、地域全体で子どもや子育て世帯、障がい児(者)などを支えられる地域環境の整備を進めます。	
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(3)	夢と誇りとやさしさにあふれる人の育み			
			項	4	社会教育費		根拠計画		教育振興基本計画、過疎地域持続的発展計画			
			目	4	女性青少年推進費							
担当課	市民活動部 生涯学習課	内線	2397									

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・青少年健全育成団体の支援等を通じて、健全な青少年を育成する。	概要	・青少年健全育成活動 ・青少年健全育成団体の活動に対する助成 ・新成人が社会人としての自覚と責任を持つための啓発
----	---------------------------------	----	--

総合計画等	主な指標	R2実績	R3実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R2		R3			
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		2,530	1,256	2,520	2,520	1,837	581
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他()						
一般財源		2,530	1,256	2,520	2,520	1,837	581
個票枝番	主な事業内容						
	青少年の健全育成	560	509	550	550	517	8
	青少年健全育成団体の活動に対する助成	1,970	747	1,970	1,970	1,320	573
	新成人への啓発						

4.令和4年度予算編成(Action)

R4予算		実施計画額		2,600
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
2,333	2,180	2,180	△ 340	
2,333	2,180	2,180	△ 340	
査定額	説明			
540				
1,510				
130				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績・評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年健全育成活動 青少年育成推進員研修会 1回目 中止(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため自粛) 2回目 中止(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため自粛) 少年補導センター補導員研修会 1回目 書面開催 2回目 中止(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため自粛) ・青少年健全育成団体の活動に対する助成
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年健全育成団体、町内会、まちづくり協議会の連携強化を図る必要がある。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの事業が規模縮小・中止となるなか、コロナ禍での事業のあり方についての検討を行った。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年健全育成団体等全市的な組織とまちづくり協議会とのかかわりの中で、より良い活動ができるよう支援していく。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

5.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年健全育成活動 青少年育成推進員研修会 1回目 中止(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため自粛) 2回目 中止(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため自粛) 少年補導センター補導員研修会 1回目 96人(会場45人、オンライン41人) 2回目 中止(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため自粛) ・青少年健全育成団体の活動に対する助成
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年健全育成団体、町内会、まちづくり協議会の連携強化を図る必要がある。 ・コロナの影響により、中止となった取り組みもあったが、オンラインを併用した研修会や少年の主張コンクールなどを開催することができた。 ・人口減少により地域からの委員(推進員、補導員)の選出が困難となっており、選出方法を検討した。 ・市街地街頭補導活動では、街頭で少年を見かけなくなったことや、冬季の補導員活動の安全確保が課題となっていたことから、青少年育成団体と活動内容の見直しを検討した。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年健全育成団体など、全市的な組織とまちづくり協議会とのかかわりの中で、より良い活動ができるよう支援を行う。 ・効果的・効率的な活動を推進するため、まちづくり協議会からの委員(推進員、補導員)選出方法の見直しを行う。 ・警察と連携した市街地街頭補導区域など、活動内容の見直しを行う。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年育成推進員の活動に必要な経費を計上 ・青少年育成団体の活動支援に必要な経費を計上 ・新成人啓発に必要な経費を計上 ・市子ども会育成事業補助金の見直し ⇒補助対象経費の内容を精査 ・高山少年補導センター補助金の見直し ⇒経費の内容を精査 ・青少年育成市民会議補助金の見直し ⇒活動内容のうち少年野外活動を中止
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容の精査
-------------------	----------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに
--------------	-------------

事業シート(令和3年度決算)

事業名	94415 女性団体育成事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約	・日常生活における「潤いやいきがい」の創出につながる生涯学習(世代ごとの多彩な学習機会)や女性のワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)を考慮した学習機会・研修参加機会の充実に努めます。
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(1)	多様な主体の協働による地域コミュニティの活性化		
			項	4	社会教育費		根拠計画		教育振興基本計画		
			目	4	女性青少年推進費						
担当課	市民活動部 生涯学習課	内線	2397								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・女性の視点から身近な暮らしにおける問題解決を目指して活動している女性団体の育成を図る。	概要	・女性団体の活動に対する支援
----	--	----	----------------

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

		R2		R3			
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		240	30	240	240	90	60
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他()						
一般財源		240	30	240	240	90	60
個票枝番	主な事業内容						
	女性団体の活動に対する助成	240	30	240	240	90	60

4.令和4年度予算編成(Action)

R4予算		実施計画額		200
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
90	90	90	△ 150	
査定額	説明			
90				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	・女性団体の活動に対する助成 団体の活動の他、県総会に参加 県研修大会、飛騨地区研究交流会 中止(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため自粛)
評価等	・男女共同参画社会の実現に向けた女性団体活動の更なる充実に向け、支援のあり方等について引き続き検討する必要がある。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの事業が中止となった。
次年度以降の考え方(担当課)	・女性団体が継続して活動できるよう支援していく。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

5.令和3年度事業実績、評価等(Check) R4.8実施

事業実績	・女性団体の活動に対する助成 ・SDGsについての研修会 ・資源回収 ・地産地消運動及び料理講習会、食に関する学習会 ・福祉ボランティア活動 ・ふるさとづくり運動岐阜県大会への参加
評価等	・新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの事業が中止となった。 ・会員の高齢化や新規会員の確保が難しく活動の継続が難しくなっている。
次年度以降の考え方(担当課)	・高山生活学校が令和4年度で活動を終了することに伴い協議会を解散予定。 <input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input checked="" type="checkbox"/> R4完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・女性団体活動補助金の見直し ⇒研修会参加に係る自動車借上げに要する経費の助成を終了
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	・要求どおり
-------------------	--------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり
--------------	------------

事業シート(令和3年度決算)

事業名	94420	二十歳を祝うつどい開催事業費 (成人式開催事業費)	予算	会計	1	一般会計	総会計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約
				款	9	教育費		まちづくり戦略	(3)	夢と誇りとやさしさにあふれる人の育み	
				項	4	社会教育費		根拠計画		教育振興基本計画、過疎地域持続的発展計画	
				目	4	女性青少年推進費					
担当課	市民活動部	生涯学習課	内線	2361							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 「二十歳を祝うつどい」を開催する。 進学や就職等で地元を離れた人と地元に残った人が集まり、高山の良さを再認識する機会として、自ら切り開いた貴重な2年間の体験や思いを語る成長の場、人生の節目として開催する。 (「新成人を祝うつどい」を開催する。) (「未来の高山市、日本及び国際社会を担う若者の成人を地域と共に祝うため開催する。) 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 12中学校区で実行委員会を組織し、式典を開催 従来の「新成人を祝うつどい(成人式)」を名称、目的、対象を変更し開催 高山市、日本及び国際社会を担う若者の成人を地域と共に祝うため開催
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

		R2		R3			
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		3,000	1,156	5,300	5,300	5,255	4,099
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他()						
一般財源		3,000	1,156	5,300	5,300	5,255	4,099
個票枝番	主な事業内容						
	新成人を祝うつどい	3,000	1,156	5,300	5,300	5,255	4,099
	二十歳(はたち)のつどい						

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和4年度予算編成(Action)

R4予算		実施計画額		3,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
3,594	3,600	3,600	△ 1,700	
3,594	3,600	3,600	△ 1,700	
査定額	説明			
3,600				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 12中学校区で実行委員会を組織し、令和3年1月開催に向け準備 新型コロナウイルスの感染拡大防止のため令和3年5月に延期 成年年齢引き下げに伴う開催方針を決定(20歳開催)
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 有意義な成人式となるよう、開催手法等について、関係機関の意見を聞きながら検討する必要がある。 新型コロナウイルス感染防止を講じた開催手法などの検討を行った。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関の意見を踏まえ「新成人を祝うつどい」を開催する。 令和4年度以降は、20歳を対象に「二十歳を祝うつどい」として開催する。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R2完了
- R3完了予定

5.令和3年度事業実績、評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 中学校区ごとに組織された実行委員により、新型コロナウイルスの感染防止対策を徹底し、市内9会場で開催 令和2年度対象者 令和3年5月開催 対象者1,069人のうち、会場参加427人 オンライン視聴349回 令和3年度対象者 令和4年1月開催 対象者1,029人のうち、会場参加818人 オンライン視聴204回
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 入場制限や開催時間を短縮するなど、新型コロナウイルス感染対策を徹底し開催した。 移動自粛により参加できない方や参加を控える方、家族などに配慮し、オンライン(YouTube配信)を併用し開催した。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 成年年齢引き下げに伴い、「二十歳(はたち)のつどい」を開催する。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R3完了
- R4完了予定

担当課 予算要求 ポイント	「二十歳(はたち)のつどい」開催に必要な経費を計上
---------------------	---------------------------

財務部 査定の 考え方	積算内容の精査
市長査定 の考え方	財務部査定のとおりに

事業シート(令和3年度決算)

事業名	94500	図書館管理事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約
				款	9	教育費		まちづくり戦略	(1)	多様な主体の協働による地域コミュニティの活性化	
				項	4	社会教育費		教育振興基本計画、子ども読書活動推進計画、過疎地域持続的発展計画			
				目	5	図書館費		根拠計画			
				担当課	市民活動部 生涯学習課			内線	2361		

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 図書館の適正な管理運営により、市民の利用を促進する。 市民の多様な学習活動を促進し、広く文化的風土を醸成することで市民の教育文化の向上を図る。 	概要	指定管理者による施設の管理運営
----	--	----	-----------------

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標
高山市図書館における高校生以下の貸し出し冊数	55,535冊	57,944冊	85,000冊

2.事業の実施結果等(Do)

		R2		R3			(千円)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		190,072	190,072	189,790	192,213	192,213	2,141
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他(雑入)		12			37	25
一般財源		190,072	190,060	189,790	192,213	192,176	2,116
個票枝番	主な事業内容						
	図書館の管理運営	188,872	188,872	187,390	189,814	189,814	942
	施設整備			1,200	1,199	1,199	1,199
	郷土近代文学資料研究	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	0

4.令和4年度予算編成(Action)

R4予算		実施計画額		190,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
188,193	188,210	188,210	△ 1,580	
10	0	0	0	
188,183	188,210	188,210	△ 1,580	
査定額	説明			
187,110				
500				
600				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績・評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者による施設の管理運営 利用状況 蔵書数 321,311点 利用登録者数 17,553人 貸出利用者数 114,098人 貸出点数 360,372点
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 利用者のニーズに応じた資料の購入や配本、レファレンスサービスの向上など、施設のより一層の利用促進を図る必要がある。 新型コロナウイルス感染症の影響により、開館時間が制限される中、感染症対策の徹底に努めた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 施設のより一層の利用促進を図る。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

5.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者による施設の管理運営 利用状況 蔵書数 320,002点 利用登録者数 17,759人 貸出利用者数 119,017人 貸出点数 356,965点 施設整備 吸収温水器フロート弁修繕
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 利用者のニーズに応じた資料の購入や配本、レファレンスサービスの向上など、施設のより一層の利用促進を図る必要がある。 新型コロナウイルス感染症の影響により、開館時間が制限される中、SNSを活用した情報発信や動画配信による講座を開催するなど、利用促進に努めた。 郷土近代文学資料研究のあり方を検討する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 施設のより一層の利用促進を図る。 郷土近代文学資料研究事業委託の見直しをすすめる。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 図書館の管理運営に必要な経費を計上 郷土近代文学資料研究事業委託の見直し ⇒調査研究報告書を冊子等による配布から他の広報誌への掲載等により紹介する方法に見直し
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容の精査
-------------------	----------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに
--------------	-------------

事業シート(令和3年度決算)

事業名	94600 文化振興支援事業費	予算	会計	1	一般会計	総会計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約	様々な世代の市民が交流できる場(機会)の創出に努めます。
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(4)	文化芸術・スポーツ活動等による心の豊かさの創出		
			項	4	社会教育費		根拠計画画		教育振興基本計画、文化芸術振興指針、過疎地域持続的発展計画		
			目	6	文化振興費						
担当課	市民活動部 生涯学習課	内線	2350								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 文化芸術の振興を図る。 市民の自主的な文化芸術活動を支援する。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 文化振興事務 文化芸術活動への支援
----	--	----	--

総会計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標
「文化芸術分野」の公民館登録団体数	125団体	119団体	180団体
「文化芸術を鑑賞したり、活動が支援されて発表したりできる環境が整っている」と感じている市民の割合	51.1%	51.3%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R2		R3			(千円)
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		8,877	2,873	6,240	6,242	3,324	451
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他()						
一般財源		8,877	2,873	6,240	6,242	3,324	451
個票枝番	主な事業内容						
	文化活動に対する助成	4,800	784	4,300	4,300	1,758	974
	飛騨春慶弦楽器の育成・活用・管理	3,677	1,960	1,540	1,542	1,428	△ 532

4.令和4年度予算編成(Action)

R4予算		実施計画額		8,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
5,690	5,682	5,682	△ 558	
5,690	5,682	5,682	△ 558	
査定額	説明			
3,900				
1,382				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 高山市文化芸術振興奨励金:6件(個人6名、団体0件) 高山市内の各地区において、飛騨春慶弦楽器の演奏会を実施 高山市民文化会館ほか3会場において計5回開催(参加人数:計318名) 飛騨春慶弦楽器展示用ケースの購入 文化振興事業支援補助金:4件
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 飛騨春慶弦楽器の演奏会を市内各地で開催したほか、市民の文化振興事業を補助することで、高山市の文化振興を図ることができた。しかし、全国的な新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、文化芸術活動が実施できない状況が続いたことから、市内演奏会の開催件数や補助金交付件数および補助金額の実績が例年と比べて大きく減少した。 新たな文化芸術の創造や文化芸術を活用したまちづくりに対する支援等を検討する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 文化芸術振興指針に基づき事業を実施する。 市民の自主的な文化芸術活動を支援する。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

5.令和3年度事業実績、評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 高山市文化芸術振興奨励金:3件(個人3名、団体0件) 高山市内の各地区において、飛騨春慶弦楽器の演奏会を実施 こまくさ保育園ほか7会場において計8回開催(参加人数:計429名) 文化振興事業支援補助金:9件
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 飛騨春慶弦楽器の演奏会を市内各地で開催したほか、市民の文化振興事業を補助することで、高山市の文化振興を図ることができた。 新型コロナウイルス感染拡大の影響もありながら、感染対策を行ったうえで文化芸術活動を再開する団体が増えたことで、昨年度よりも補助金交付件数および補助金額が増加した。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 文化振興事業支援補助金(近代文学館企画展等開催事業補助金)の内容精査が必要である。 文化芸術振興指針に基づき事業を実施する。 市民の自主的な文化芸術活動を支援する。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 市民の文化活動に対する助成に必要な経費を計上 飛騨春慶弦楽器の育成・活用に必要な経費を計上 文化振興事業支援補助金(近代文学館企画展等開催事業補助金)の見直し ⇒近代文学企画展等の開催に係る内容を精査
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	・精算内容の精査
-------------------	----------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに
--------------	-------------

事業シート(令和3年度決算)

事業名	94605 美術展覧会等開催事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約	様々な世代の市民が交流できる場(機会)の創出に努めます。	
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(4)	文化芸術・スポーツ活動等による心の豊かさの創出			
			項	4	社会教育費		根拠計画					教育振興基本計画、文化芸術振興指針、過疎地域持続的発展計画
			目	6	文化振興費							
担当課	市民活動部 生涯学習課	内線	2350									

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・美術展覧会等の開催を通じて、文化芸術の振興を図る。	概要	・公募美術展の開催 ・市有美術品の展示等活用
----	----------------------------	----	---------------------------

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標
市の公募美術展への出品点数(年間)	-	634	1,520点
文化芸術を鑑賞したり、活動が支援されて発表したりできる環境が整っている」と感じている市民の割合	51.1%	51.3%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

		R2		R3			(千円)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		9,336	5,653	10,320	10,474	8,342	2,689
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他(文化振興事業雑入)	200	312	1,900	1,900	1,170	858
一般財源		9,136	5,341	8,420	8,574	7,172	1,831
個票枝番	主な事業内容						
	飛騨高山国際現代木版画展	6,203	4,843	550	550	0	△ 4,843
	市美術展覧会	1,952	263	2,000	2,000	1,605	1,342
	市が保有する美術品の一括管理、展示	1,181	323	1,240	1,240	792	469
	飛騨高山臥龍桜日本画大賞展			6,530	6,684	5,945	5,945
	茂住菁邨書展						

4.令和4年度予算編成(Action)

		R4予算	実施計画額	3,900
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
6,232	5,950	5,950	△ 4,370	
148	148	148	△ 1,752	
6,084	5,802	5,802	△ 2,618	
査定額	説明			
550				
2,130				
1,220				
0				
2,050				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 飛騨高山国際現代木版画トリエンナーレ 応募状況 一般部門:38の国と地域から352点、うち入賞15点 入選46点 小中学生部門:市内小中学校から287点、うち入賞36点 入選32点 高山市美術展覧会企画展(高山市美術展覧会はコロナ禍の影響により中止) 展示作品 41点 来場者数 382人 市有美術品の一元管理・展示 点在していた絵画を飛騨・世界生活文化センターへ集約 高山市有美術品展「桜づくし」 展示作品 41点 来場者数 381人 	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 飛騨高山国際現代木版画トリエンナーレの展覧会のYouTube配信を行い、コロナ禍で来場できない海外や遠方の出品者等に対して鑑賞の機会を提供した。 コロナ禍により高山市美術展覧会は実施できなかったが、企画展として過去の市展賞作品の展示を行った。 市主催公募展がより多くの市民に親しまれるとともに飛騨高山の魅力向上につなげる必要がある。 市有美術品の活用を図る必要がある。 	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 美術展覧会等の開催を通じて、文化芸術の振興を図る。 実施方法の見直し等、美術展覧会のあり方について検討する。 市有美術品の活用を図る。 	

5.令和3年度事業実績、評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 第28回飛騨高山臥龍桜日本画大賞展 一般部門応募数:176点(内入賞8点、入選64点) 小中学生部門応募数:216点(内入賞16点、入選49点) 入賞作品のみ飛騨高山まちの博物館にて展示 コロナ禍により文化会館での展覧会は中止し入賞入選作品をオンラインで配信 第66回高山市美術展覧会 出品数:242点(一般の部:8部門 198点/青年の部:4部門 44点) 来場者数:2,387人 市有美術品の一元管理・展示 高山市所蔵美術品展「村田瑞枝作品展」 展示作品:34点 来場者数:766人 	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 臥龍桜日本画大賞展の展覧会をYouTube配信し、コロナ禍で来場できない方に対して鑑賞の機会を提供した。 市所蔵美術品展は、飛騨・世界生活文化センター以外に村半でもサテライト会場として展示を行ったことにより、来場者数の増加につながった。 木版画トリエンナーレの作品募集については、コロナ禍による影響で1年延期とした。 市主催公募展がより多くの市民に親しまれるとともに飛騨高山の魅力向上につなげる必要がある。 市有美術品の活用を図る必要がある。 	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 美術展覧会等の開催を通じて、文化芸術の振興を図る。 実施方法の見直し等、美術展覧会のあり方について検討する。 市有美術品の活用を図る。 	

担当課 予算要求 ポイント	
財務部 査定の 考え方	・積算内容の精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和3年度決算)

事業名	94610 文化芸術鑑賞事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約	様々な世代の市民が交流できる場(機会)の創出に努めます。
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(4)	文化芸術・スポーツ活動等による心の豊かさの創出		
			項	4	社会教育費		教育振興基本計画、文化芸術振興指針、過疎地域持続的発展計画				
			目	6	文化振興費		根拠計画				
担当課	市民活動部 生涯学習課	内線	2350								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・優れた文化芸術にふれる機会の充実を図る。	概要	・小学校芸術鑑賞事業の開催 ・市民文化芸術鑑賞事業の開催 ・子ども夢創造事業(文化芸術)の実施
----	-----------------------	----	---

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標
「文化芸術を鑑賞したり、活動が支援されて発表したりできる環境が整っている」と感じている市民の割合	51.1%	51.3%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

		R2		R3			(千円)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		41,070	35,973	35,060	34,253	32,571	△ 3,402
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他()						
一般財源		41,070	35,973	35,060	34,253	32,571	△ 3,402
個票枝番	主な事業内容						
	市民文化芸術鑑賞事業	35,000	35,000	30,000	30,000	30,000	△ 5,000
	小学校芸術鑑賞事業	2,060	806	2,050	2,050	1,883	1,077
	子ども夢創造事業(文化芸術ワークショップほか)	3,000	0	3,000	2,193	688	688
	ジャコパン国際ピアノ音楽祭 高山演奏会	1,000	167				△ 167

4.令和4年度予算編成(Action)

		R4予算		実施計画額		36,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)			
24,055	24,060	24,060	△ 11,000			
24,055	24,060	24,060	△ 11,000			
査定額	説明					
20,000						
2,050						
2,000						

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績・評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 市民文化芸術鑑賞事業:延21回 累計4,929名来場 小学校芸術鑑賞事業:音楽(小学校6校)466人、観劇(新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止) 子ども夢創造事業(新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止) ジャコパン国際ピアノ音楽祭 in 高山(新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止)
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、多くの事業が中止となった。 コロナ禍の厳しい状況であったが、小学校芸術鑑賞事業(音楽)として各小学校を訪問のうえ飛騨春慶弦楽奏の演奏会を開催したことにより、多くの児童が飛騨春慶弦楽奏の音色に触れることができた。 子どもたちが文化芸術を通じて将来の夢を育むことができるような事業展開が必要である。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・優れた文化芸術にふれる機会の充実を図る。 ・コロナ禍であっても、子どもたちが文化芸術に触れられる機会を確保する。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

5.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 市民文化芸術鑑賞事業:延18回 累計5,258名来場 小学校芸術鑑賞事業:音楽(小学校7校)1,100人、観劇(小学校7校)283人 ※新型コロナウイルス感染拡大のため会場で観劇できない学校は収録した映像をオンラインで視聴 子ども夢創造事業: <ul style="list-style-type: none"> ①市外訪問型(コロナで中止) ②市内招待型「私も一日芸大生 in 高山」22人 ③現代アート「光の箱を作ってみよう」120人 ※新型コロナウイルス感染拡大のため製作キットを送付し自宅で製作後日、作品を持ち寄り撮影会を開催
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大の影響がある中で、感染対策を講じて事業を実施した。 ・小学校芸術鑑賞事業(観劇)のオンライン併用や、子ども夢創造事業「光の箱を作ってみよう」の製作キット送付など、コロナ禍でも子どもたちが芸術に触れられる機会を提供した。 ・子どもたちが文化芸術を通じて将来の夢を育むことができるような事業展開が必要である。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・芸術鑑賞については、事業の実施内容に応じた事業費の精査を行う。 ・優れた文化芸術にふれる機会を提供する。 ・コロナ禍であっても、子どもたちが文化芸術に触れられる機会を確保する。 ・市民文化芸術鑑賞事業の見直しをすすめる。 <input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・優れた文化芸術にふれる機会を提供するために必要な経費を計上 ・市民文化芸術鑑賞事業及び子ども夢創造事業(文化芸術)の見直し ⇒実施内容に応じた事業費の精査
財務部 査定の 考え方	・精算内容の精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(令和3年度決算)

事業名	94620 文化伝承館管理事業費	予算	会計	1	一般会計	総会計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(4)	文化芸術・スポーツ活動等による心の豊かさの創出	
			項	4	社会教育費		根拠計画		教育振興基本計画、文化芸術振興指針	
			目	6	文化振興費					
担当課	市民活動部 生涯学習課	内線	2350							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 文化伝承館の適正な管理運営により、市民の利用を促進する。 市民の間に深く根付いてきた伝統文化を学び、親しみ、伝承するとともに、市民の文化意識の高揚を図る。 	概要	指定管理者による施設の管理運営
----	--	----	-----------------

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標
「文化芸術を鑑賞したり、活動が支援されて発表したりできる環境が整っている」と感じている市民の割合	51.1%	51.3%	↗
文化施設利用者数(年間)	143,803人	180,344人	462,000人

2.事業の実施結果等(Do)

		R2		R3			
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		3,978	3,977	3,930	4,038	4,038	61
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他()						
一般財源		3,978	3,977	3,930	4,038	4,038	61
個票枝番	主な事業内容						
	文化伝承館の管理運営	3,978	3,977	3,930	4,038	4,038	61

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和4年度予算編成(Action)

R4予算		実施計画額		3,900
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
3,922	3,930	3,930	0	
査定額	説明			
3,930				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者による施設の管理運営 利用状況 利用者数 172人
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 施設のより一層の利用促進を図る必要がある。 新型コロナウイルス感染症の影響により利用者が減少した。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 施設のより一層の利用促進を図るため、利用方法等について検討する。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

5.令和3年度事業実績、評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者による施設の管理運営 利用状況 利用者数 163人
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 施設のより一層の利用促進を図る必要がある。 新型コロナウイルス感染症の影響により利用者が減少した。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 施設のより一層の利用促進を図るため、利用方法等について検討する。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

担当課 予算要求 ポイント	文化伝承館の管理運営に必要な経費を計上
---------------------	---------------------

財務部 査定の 考え方	積算内容の精査
-------------------	---------

市長査定 の考え方	財務部査定のとおりに
--------------	------------

事業シート(令和3年度決算)

事業名	94630 飛騨高山文化芸術祭開催事業費	予算	会計	1	一般会計	総会計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約	・高山市文化芸術振興指針に基づき、市民が主役となる「飛騨高山文化芸術祭」を継続します。	
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(4)	文化芸術・スポーツ活動等による心の豊かさの創出			
			項	4	社会教育費		根拠計画		教育振興基本計画、文化芸術指針、過疎地域持続的発展計画			
			目	6	文化振興費							
担当課	市民活動部 生涯学習課	内線	2350									

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・市民が主役の文化芸術の創造・振興を図る。	概要	・飛騨高山文化芸術祭の開催
----	-----------------------	----	---------------

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標
「文化芸術を鑑賞したり、活動が支援されて発表したりできる環境が整っている」と感じている市民の割合	51.1%	51.3%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R2		R3		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)
				2,000	2,000	
特定財源	国費()					
	県費()					
	その他()					
一般財源				2,000	2,000	
個票枝番	主な事業内容					
◎ 1	飛騨高山文化芸術祭「こだま〜れ」の開催			2,000	2,000	

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和4年度予算編成(Action)

R4予算		実施計画額		2,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
2,000	2,000	2,000	0	
2,000	2,000	2,000	0	
査定額	説明			
2,000				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

5.令和3年度事業実績、評価等(Check) R4.8実施

事業実績	・飛騨高山文化芸術祭実行委員会の開催 →コロナの影響により令和4年度の実施が困難との判断から延期を決定
評価等	・アフターコロナを見据えた飛騨高山文化芸術祭の在り方を検討する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・第4回飛騨高山文化芸術祭の開催に向けた準備及びPRに必要な経費を計上
---------------------	-------------------------------------

財務部 査定の 考え方	要求どおり
-------------------	-------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに
--------------	-------------

主要事業個票(令和3年度決算)

事業名	94630 飛騨高山文化芸術祭開催事業費	区分	<input type="checkbox"/> R3新規	<input type="checkbox"/> R4新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	市民活動部 生涯学習課	
枝番・内容	1 飛騨高山文化芸術祭「こだま〜れ」の開催		<input type="checkbox"/> R3拡充	<input type="checkbox"/> R4拡充		款	9	教育費			
		<input type="checkbox"/> その他重要事業		項		4	社会教育費	内線			2350
		<input checked="" type="checkbox"/> 3年周期事業		目		6	文化振興費	作成年月			R4.8

事業の目的・概要(Plan)

目的	・文化芸術の振興を図る	概要	・第4回飛騨高山文化芸術祭の開催に向けた実行委員会の開催及びPRイベント等の実施
----	-------------	----	--

【参考】R2決算(Do-Check) R3.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

【参考】R3当初予算(Action) R3.3時点 (千円)

予算額	当初	2,000
主な経費	・飛騨高山文化芸術祭実行委員会負担金	
対前年度増減額(当初予算)		2,000

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

R3決算(Do-Check) R4.8時点 (千円)

予算額	当初	2,000
	繰越	0
	補正等	0
	最終	2,000
決算額		0
対前年度増減額(決算)		0

R4当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	2,000
主な経費	・飛騨高山文化芸術祭実行委員会負担金	
対前年度増減額(当初予算)		0

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等	
[事業実績]	
[評価等]	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	飛騨高山文化芸術祭実行委員会の開催 ・公募委員の募集 ・第4回飛騨高山文化芸術祭「こだま〜れ2022」の開催に向けた準備 第4回飛騨高山文化芸術祭「こだま〜れ2022」PR事業の実施 ・広報活動(チラシ、広告、ラジオCM等) ・PR事業の実施
[スケジュール]	6月～ 実行委員募集 8月～ 実行委員会の開催(3月まで必要に応じ随時開催) 2～3月 PR事業の実施

事業実績、評価等	
[事業実績]	飛騨高山文化芸術祭実行委員会の開催 ・公募委員の決定 ・第4回飛騨高山文化芸術祭「こだま〜れ2022」の開催方針等の協議 →コロナの影響により令和4年度の実施が困難と判断し延期を決定
[評価等]	アフターコロナを見据えた飛騨高山文化芸術祭の在り方を検討する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	1年延期した第4回飛騨高山文化芸術祭の実施に向けた検討 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	飛騨高山文化芸術祭実行委員会の開催 ・第4回飛騨高山文化芸術祭「こだま〜れ」の開催に向けた準備 第4回飛騨高山文化芸術祭「こだま〜れ」PR事業の実施 ・広報活動(チラシ、広告、メール配信等) ・PR事業の実施
[スケジュール]	4月～ 実行委員会の開催(3月まで必要に応じ随時開催) 2～3月 PR事業の実施

事業シート(令和3年度決算)

事業名	94900 生涯学習推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約	・日常生活における「潤いやいきがい」の創出につながる生涯学習(世代ごとの多彩な学習機会)や女性のワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)を考慮した学習機会・研修参加機会の充実に努めます。
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(1)	多様な主体の協働による地域コミュニティの活性化		
			項	4	社会教育費		根拠計画		教育振興基本計画、過疎地域持続的発展計画		
			目	9	生涯学習推進費						
担当課	市民活動部 生涯学習課	内線	2361								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・生涯学習機会の提供と充実を図る。	概要	・生涯学習講座の開催 ・子ども夢創造事業(科学)の実施 ・放送大学岐阜学習センター高山分室の管理運営
----	-------------------	----	--

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標
各種講座(生涯学習講座、出前講座、子ども夢創造事業)参加者数	11,151人	13,197人	25,000人
「生涯学習に取り組む機会や学習成果を活かすことができる環境が整っている」と感じている市民の割合	43.8%	43.9%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R2		R3			(千円)
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		3,337	1,323	3,350	3,350	759	△ 564
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他()						
一般財源		3,337	1,323	3,350	3,350	759	△ 564
個票枝番	主な事業内容						
	子ども夢創造事業(科学ひろばほか)	2,937	1,187	3,000	3,000	733	△ 454
	放送大学高山学習センター運営	20	7	20	20	14	7
	生涯学習講座	380	129	330	330	12	△ 117

4.令和4年度予算編成(Action)

R4予算		実施計画額		3,400
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
2,728	2,070	2,070	△ 1,280	
2,728	2,070	2,070	△ 1,280	
査定額	説明			
1,800				
20				
250				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績・評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習講座の開催(4回、148人参加) ・子ども夢創造事業の実施(5回、401人参加) ※「おうちで科学ひろば」リーフレット配布 ・放送大学岐阜学習センター高山分室の管理運営(学生数71人、新規入学者数18人)
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により一部事業は中止となったが、学校休業期間中に家庭での体験機会として「おうちで科学ひろば」リーフレットを作成するなど、子どもたちが科学やものづくりを通じて、将来の夢や職業意識を育むことができるような事業を開催することができた。 ・登録団体やまちづくり協議会を対象とした「ZOOM講座」を開催し、コロナ禍での学習方法の周知を図った。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習機会の提供と充実を図る。 ・学習情報を収集・整理し学習情報を提供する仕組みや自ら学んだ成果を地域課題の解決や地域の魅力づくりにつなげる環境整備をすすめる。 ・多くの科学技術にふれる機会を提供するため、企業や団体の協力による体験機会の充実を図る。

5.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習講座の開催(1回、52人) ・子ども夢創造事業の実施(3回、195人) 紙飛行機を飛ばそう 参加者58人 施設見学(飛騨天文台、御母衣ダム) 中止 ものラボ高山キャンプ 中止 科学ひろば ※8/27から2/6に延期し中止 クルマを楽しく学ぼう@高山自動車短大 参加者15人 プログラミング講座 参加者122人 ・放送大学岐阜学習センター高山分室の管理運営(学生数70人、新規入学者17人)
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により多くの事業は中止となったが、感染対策を徹底し、子ども達が科学やものづくりを通じて、将来の夢や職業意識を育むことができるような事業を開催した。 ・子ども夢創造事業(プログラミング講座)は、3年間で536人が参加し、多くの児童に科学に触れる機会を創出した。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習機会の提供と充実を図る。 ・学習情報を収集・整理し学習情報を提供する仕組みや自ら学んだ成果を地域課題の解決や地域の魅力づくりにつなげる環境整備をすすめる。 ・多くの科学技術にふれる機会を提供するため、企業や団体の協力による直接体験の機会を充実する。

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習機会の提供に必要な経費を計上 ・子ども夢創造事業(科学)の見直し ⇒当初計画(3年)どおりプログラミング講座を終了
財務部 査定の 考え方	・積算内容の精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(令和3年度決算)

事業名	94910 家庭教育充実事業費	予算	会計	1	一般会計	総会計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約	・日常生活における「潤いやいきがい」の創出につながる生涯学習(世代ごとの多彩な学習機会)や女性のワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)を考慮した学習機会・研修参加機会の充実に努めます。	
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(3)	夢と誇りとやさしさにあふれる人の育み			
			項	4	社会教育費		根拠計画画		教育振興基本計画、過疎地域持続的発展計画			
			目	9	生涯学習推進費							
担当課	市民活動部 生涯学習課	内線	2361									

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 家庭や地域とのかかわりの中で教え学びあえるつながりのある家庭教育を促進する。 PTAが行う、地域の絆を深め子どもたちを見守る活動を支援する。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 家庭教育講座の開催 PTA連合会の活動に対する支援
----	---	----	--

総会計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標
家庭教育に関する各種学習機会への参加者数(年間)	33,021人	43,889人	48,000人
生涯学習に取り組む機会や学習成果を活かすことができる環境が整っている」と感じている市民の割合	43.8%	43.9%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R2		R3			
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		1,563	486	1,500	1,500	619	133
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他()						
一般財源		1,563	486	1,500	1,500	619	133
個票枝番	主な事業内容						
	家庭教育講座	730	124	730	730	63	△ 61
	家庭教育講演会、学ぶPTA	324	126	300	300	103	△ 23
	PTA連合会の活動に対する助成	360	120	360	360	360	240

4.令和4年度予算編成(Action)

R4予算		実施計画額		1,500
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
1,151	1,140	1,140	△ 360	
1,151	1,140	1,140	△ 360	
査定額	説明			
530				
300				
310				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 家庭教育講座の開催支援 市・学校・PTA等で130回の講演会等を開催。うち「学ぶPTA」を2校で実施 PTA連合会の活動に対する助成
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 家庭教育の充実を求める市民ニーズに対応した家庭教育のあり方について、引き続き検討する必要がある。 PTA活動の更なる充実に向け、支援のあり方等について引き続き検討する必要がある。 新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの事業が規模縮小・中止となった。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 家庭教育機会の提供と充実を図る。 まちづくり協議会が行う家庭教育と連携する仕組みについて検討する。 PTAが学校でより良い活動ができるよう支援する。

5.令和3年度事業実績、評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 家庭教育講座の開催支援 市・学校・PTA等で169回の講座・講演会等を開催。うち「学ぶPTA」を4校で実施 PTA連合会の活動に対する助成
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 家庭教育の充実を求める市民ニーズに対応した家庭教育のあり方について、引き続き検討する必要がある。 PTAと学校、更にまちづくり協議会が連携した家庭教育講座の充実が必要である。 市PTA連合会が進める事業について補助対象となる経費の検討が必要である。 乳幼児を対象とした家庭教育の推進については、課題の把握や保護者のニーズに応じた学習の場を提供するため検討が必要である。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 家庭教育機会の提供と充実を図る。 地域・学校・各種団体が連携した家庭教育を推進する。 PTAが学校でより良い活動ができるよう支援する。

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 乳幼児を対象とした事業(家庭教育講演会)を子育て支援課の所管事業に移管 高山市PTA連合会補助金の見直し ⇒補助対象経費の内容を精査
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容の精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(令和3年度決算)

事業名	94920 生涯学習施設等管理事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(4)	文化芸術・スポーツ活動等による心の豊かさの創出	
			項	4	社会教育費		根拠計画 教育振興基本計画、過疎地域持続的発展計画			
			目	9	生涯学習施設推進費					
担当課	市民活動部 生涯学習課	内線	2361							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習施設の適正な管理運営により、市民の利用を促進する。 誰もが生涯に渡って学んだり、社会で活躍する中で、生きがいを持つことができる環境をつくる。 	概要	指定管理者による施設の管理運営
----	---	----	-----------------

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標
「生涯学習に取り組む機会や学習成果を活かすことができる環境が整っている」と感じている市民の割合	43.8%	43.9%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

		R2			R3		
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		35,530	35,009	36,180	36,560	35,930	921
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他(使用料)		6			6	0
一般財源		35,530	35,003	36,180	36,560	35,924	921
個票枝番	主な事業内容						
	生涯学習施設等の管理運営	35,030	34,707	35,680	36,060	35,590	883
	施設整備	500	302	500	500	340	38

4.令和4年度予算編成(Action)

R4予算		実施計画額		35,500
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
36,167	36,180	36,180	0	
5	5	5	5	
36,162	36,175	36,175	△ 5	
査定額	説明			
35,680				
500				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者による施設の管理運営(3施設) 利用状況 利用件数 1,012件 利用者数 17,431人 施設整備 丹生川文化ホール配水ポンプ修繕
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 施設のより一層の利用促進を図る必要がある。 公共施設等総合管理計画に基づく計画的な修繕・改修の実施と施設の統廃合や多機能化を検討する必要がある。 コロナ禍での利用制限等により利用者数は減少したが、感染対策の徹底や特別減免の実施により、利用団体の活動継続に努めた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 施設のより一層の利用促進を図る。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

5.令和3年度事業実績、評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者による施設の管理運営(3施設) 利用状況 利用件数 1,065件 利用者数 27,444人 施設整備 飛騨プラネタリウム浄化槽修繕
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 施設のより一層の利用促進を図る必要がある。 公共施設等総合管理計画に基づく計画的な修繕・改修の実施と施設の統廃合や多機能化を検討する必要がある。 コロナの影響により施設の利用は減少しているが、感染対策の徹底したうえで利用制限の緩和により回復傾向にある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 施設のより一層の利用促進を図る。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

担当課 予算要求 ポイント	生涯学習施設等の管理運営に必要な経費を計上
---------------------	-----------------------

財務部 査定の 考え方	積算内容の精査
市長査定 の考え方	財務部査定のとおりに